



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 児玉化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4222 URL <https://www.kodama-chemical.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)坪田 順一
 問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)横山 治男 (TEL)050(3645)0121
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	11,653	5.9	271	△51.8	262	△47.2	57	△84.7
2022年3月期第3四半期	11,001	12.1	563	130.3	497	275.7	377	139.7

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 473百万円(9.9%) 2022年3月期第3四半期 430百万円(592.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	3.56	—
2022年3月期第3四半期	44.64	24.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,162	4,861	29.0
2022年3月期	12,885	4,467	28.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,815百万円 2022年3月期 3,565百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,390	3.4	385	△43.2	456	△21.3	173	△58.5	17.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	7,859,191株	2022年3月期	7,859,191株
2023年3月期3Q	69,499株	2022年3月期	70,828株
2023年3月期3Q	7,788,981株	2022年3月期3Q	7,788,459株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(会計上の見積りの変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の大幅な緩和及び政府の経済対策など景気回復の兆しも見られましたが、新たな変異株の出現による感染症再拡大に加え、長期化するロシア・ウクライナ情勢に端を発した原油価格や原材料価格高騰の影響、サプライチェーンの回復遅れなど、当社事業を取り巻く環境は依然として非常に厳しい状況が続いております。

こうした経済状況のなか、財務内容を健全化させ経営基盤を安定化させると同時に、安定操業の確保、コンプライアンスの遵守およびリスク管理の強化などに継続的に取り組んでまいりました。

この様な状況のなか、当第3四半期連結累計期間における売上高は11,653百万円(前年同四半期比5.9%増)と増収となり、営業利益は271百万円(前年同四半期比51.8%減)、経常利益は262百万円(前年同四半期比47.2%減)、税金等調整前四半期純利益は262百万円(前年同四半期比47.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は57万円(前年同四半期比84.7%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① モビリティ事業

当事業の国内自動車部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響および半導体等部品供給不足の影響は小さく、建機農機の落ち込みが見られましたが、最も大きな影響は大型・中型トラック向けの販売減によるものです。海外自動車部門におきましては、ピックアップトラック向けの販売が回復し増収となりました。それにより、タイのECHO AUTOPARTS (THAILAND) CO., LTD. では、前連結会計年度と比べ売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は6,991百万円(前年同四半期比12.9%増)、セグメント利益は230百万円(前年同四半期比34.6%減)となりました。

② リビングスペース事業

当事業の国内住宅設備部門におきましては、業界全般的なサプライチェーンは徐々に回復傾向に向かっておりますが、高級タイプの住宅リフォーム需要は減少傾向が続き、DIY等の巣籠り需要が大きく落ち込みました。一方、新規化粧鏡の受注や普及タイプの化粧鏡の需要は好調に推移しました。また、業務用空調部品は需要が引き続き堅調でありましたが、売上高は減少いたしました。海外冷機部品部門におきましては、タイのTHAI KODAMA CO., LTD. では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり売上高は微減となりました。ベトナムのTHAI KODAMA (VIETNAM) CO., LTD. では、引き続き業務用冷蔵庫部品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は3,974百万円(前年同四半期比1.9%増)、セグメント利益は352百万円(前年同四半期比19.0%減)となりました。

③ アドバンスド&エッセンシャル事業

当事業におきましては、ゲームソフト用パッケージ事業は需要増により引き続き前年を上回り、また、エネルギー関連インフラ設備向けでは新規部品受注により販売増となりました。前年度まで当事業に含んでおりました自動車向け関連製品を当年度においてはモビリティ事業に移管したことにより、売上高は減少いたしました。利益については、売上減少分が減益となりましたが、利益率では10%以上を確保しております。

この結果、売上高は686百万円(前年同四半期比24.2%減)、セグメント利益は121百万円(前年同四半期比18.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は13,162百万円となり、前連結会計年度末に比べ276百万円の増加となりました。

資産では、流動資産は現金及び預金が借入金返済等により143百万円減少し、固定資産が有形固定資産の機械装置及び運搬具の増加等により419百万円増加いたしました。

負債では、流動負債は設備投資による未払額の増加等により289万円増加し、固定負債は長期借入金等の減少等により407百万円減少いたしました。

純資産では、非支配株主持分の増加等により394百万円増加いたしました。これらの結果、自己資本比率は29.0%(前連結会計年度末は28.3%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年2月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,954,535	1,545,626
受取手形及び売掛金	2,682,156	2,795,735
商品及び製品	373,980	417,557
仕掛品	221,209	207,903
原材料及び貯蔵品	532,222	645,694
その他	166,071	176,538
貸倒引当金	△18,778	△20,775
流動資産合計	5,911,398	5,768,281
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,903,444	6,078,599
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,928,549	△4,176,548
建物及び構築物(純額)	1,974,894	1,902,050
機械装置及び運搬具	8,022,365	8,909,830
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,055,915	△7,678,197
機械装置及び運搬具(純額)	966,450	1,231,632
土地	2,948,099	3,020,697
リース資産	741,770	816,026
減価償却累計額	△466,329	△574,752
リース資産(純額)	275,440	241,274
建設仮勘定	173,221	346,559
その他	2,996,113	3,142,261
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,808,670	△2,974,587
その他(純額)	187,442	167,673
有形固定資産合計	6,525,550	6,909,888
無形固定資産		
その他	100,026	94,763
無形固定資産合計	100,026	94,763
投資その他の資産		
投資有価証券	305,322	347,696
固定化営業債権	18,990	18,990
繰延税金資産	22,839	24,077
その他	55,501	52,777
貸倒引当金	△54,150	△54,150
投資その他の資産合計	348,503	389,391
固定資産合計	6,974,080	7,394,042
資産合計	12,885,479	13,162,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,805,852	1,999,193
電子記録債務	756,209	753,394
短期借入金	4,033,988	3,818,617
リース債務	74,661	46,206
未払法人税等	34,151	20,060
賞与引当金	80,254	137,885
環境対策引当金	6,364	6,364
その他	644,590	944,340
流動負債合計	7,436,073	7,726,063
固定負債		
長期借入金	436,315	—
リース債務	96,597	67,010
繰延税金負債	39,888	79,369
株式給付引当金	19,557	25,619
退職給付に係る負債	390,020	402,711
固定負債合計	982,378	574,709
負債合計	8,418,452	8,300,773
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,254,948	2,254,948
利益剰余金	1,228,493	1,246,328
自己株式	△59,159	△57,952
株主資本合計	3,524,282	3,543,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,049	80,766
為替換算調整勘定	62,145	196,400
退職給付に係る調整累計額	12,236	△4,738
その他の包括利益累計額合計	127,431	272,428
非支配株主持分	815,312	1,045,797
純資産合計	4,467,026	4,861,550
負債純資産合計	12,885,479	13,162,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	11,001,022	11,653,165
売上原価	9,196,396	10,008,558
売上総利益	1,804,626	1,644,606
販売費及び一般管理費	1,241,344	1,373,363
営業利益	563,281	271,242
営業外収益		
受取利息	8,660	8,841
受取配当金	9,849	11,561
補助金収入	—	41,680
その他	16,512	39,162
営業外収益合計	35,022	101,245
営業外費用		
支払利息	70,533	63,017
支払手数料	13,081	17,766
為替差損	10,337	24,793
その他	6,520	4,176
営業外費用合計	100,473	109,753
経常利益	497,830	262,734
税金等調整前四半期純利益	497,830	262,734
法人税、住民税及び事業税	45,133	75,982
法人税等調整額	7,039	25,810
法人税等合計	52,172	101,793
四半期純利益	445,657	160,941
非支配株主に帰属する四半期純利益	67,873	103,107
親会社株主に帰属する四半期純利益	377,784	57,834

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	445,657	160,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,509	27,717
為替換算調整勘定	△25,191	300,897
退職給付に係る調整額	8,495	△16,550
その他の包括利益合計	△15,187	312,064
四半期包括利益	430,469	473,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369,478	202,831
非支配株主に係る四半期包括利益	60,991	270,173

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当金(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月25日 定時株主総会	A種優先株式	30,156	3.86	2021年3月21日	2021年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当金(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年5月13日 取締役会	A種優先株式	40,000	5.12	2022年3月21日	2022年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外子会社の収益および費用の換算方法の変更)

在外子会社の収益および費用は、従来、当該子会社の決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社の重要性の増加および近年の著しい為替相場の変動を勘案した結果、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、当連結会計年度より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	モビリティ 事業	リビングスペース 事業	アドバンスド&エッ センシャル事業	
売上高				
日本	3,635,350	2,495,568	905,624	7,036,542
東南アジア	2,559,494	1,404,984	—	3,964,479
顧客との契約から生じる収益	6,194,845	3,900,552	905,624	11,001,022
外部顧客への売上高	6,194,845	3,900,552	905,624	11,001,022
セグメント間の内部売上高又は振替高	196,091	597,210	—	793,302
計	6,390,937	4,497,763	905,624	11,794,324
セグメント利益	351,950	435,482	102,628	890,061

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	890,061
全社費用(注)	△393,902
未実現損益調整額	1,396
その他の調整額	274
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	497,830

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	モビリティ事業	リビングスペース事業	アドバンスド&エッセンシャル事業	
売上高				
日本	3,456,012	2,300,746	686,913	6,443,673
東南アジア	3,535,431	1,674,060	—	5,209,492
顧客との契約から生じる収益	6,991,444	3,974,807	686,913	11,653,165
外部顧客への売上高	6,991,444	3,974,807	686,913	11,653,165
セグメント間の内部売上高又は振替高	227,780	387,484	96	615,362
計	7,219,225	4,362,292	687,010	12,268,527
セグメント利益	230,273	352,669	121,890	704,834

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	704,834
セグメント間取引消去	△73,394
全社費用(注)	△369,576
未実現損益調整額	1,396
その他の調整額	△524
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	262,734

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、事業内容をより適正に表示するため、従来「自動車部品事業」としていた報告セグメントの名称を「モビリティ事業」、「住宅設備・冷機部品事業」としていた報告セグメントの名称を「リビングスペース事業」、「アドバンスドマーケット事業」としていた報告セグメントの名称を「アドバンスド&エッセンシャル事業」に変更しております。報告セグメントの名称変更によりセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で開示しております。